# 山 岳 遭 難 発 生 状 況 (令和7年1月1日~令和7年11月9日)

地域部 山岳安全対策課

#### 1 山岳遭難発生状況

×			分	発生件数	死	者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令	和	7	年	349		48	5	167	163	383
令	和	6	年	309		47	3	139	147	336
前	年后	〕斯	比	40		1	2	28	16	47

#### 2 山域別発生状況

[	区 分	件	数	件数比率	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
	槍穂高		68	19.5%	10	0	34	30	74
北ア	後立山		87	24.9%	8	1	38	56	103
	その他		56	16.0%	1	0	36	25	62
	計		211	60.5%	19	1	108	111	239
中共	央アルプス		24	6.9%	6	1	10	9	26
南	<b>ブルプス</b>		11	3.2%	0	2	8	1	11
八	ケ岳連峰		36	10.3%	5	0	19	13	37
そ(	の他の山岳		67	19. 2%	18	1	22	29	70
	計		349		48	5	167	163	383

## 3 態様別発生状況

X	分	件	数	件数比率	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転	・滑落		93	26.6%	28	0	67	0	95
転	倒		87	24.9%	1	0	86	0	87
病	気		28	8.0%	8	0	0	20	28
道	迷い		33	9.5%	0	0	0	50	50
落	石		7	2.0%	0	0	7	0	7
雪	崩		2	0.6%	1	0	1	1	3
落	雷		0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労	凍死傷		57	16.3%	2	0	0	59	61
不明	明・他		42	12.0%	8	5	6	33	52
	計		349		48	5	167	163	383

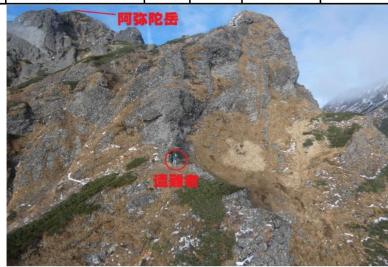
## 4 男女別・年齢別比率

	男		性		(人)	女 性		(人)	9	<b>見女計</b>				
区分	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
1 9 歳以下	0	0	0	7	7		0	0	1	0	1		8	
20代	1	0	4	18	23	46	0	0	1	5	6	18	29	64
30代	4	1	4	7	16	17.3%	0	0	3	8	11	15.4%	27	16.7%
40代	5	1	13	14	33	85	1	0	16	3	20	46	53	131
50代	7	0	21	24	52	32.0%	1	0	19	6	26	39.3%	78	34.2%
60代	9	2	31	26	68	135	0	0	22	8	30	53	98	188
70以上	20	1	18	28	67	50.8%	0	0	14	9	23	45.3%	90	49.1%
計	46	5	91	124	266		2	0	76	39	117		383	
比 率	69.5%									30.	5%			

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

#### 先週の発生(11/4~11/9)

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
11月6日	ハヶ岳連峰 阿弥陀岳	男	24	無事救出	道迷い	単独で阿弥陀岳南稜を登山中、積雪により道   に迷い、行動不能



上記遭難現場の写真

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、一件の山岳遭難が発生しました。

ハヶ岳連峰のバリエーションルートの一つである阿弥陀岳南稜ルートを登山中、積雪により道に迷い、行動不能となり救助要請。バリエーションルートは、道標や看板、マーキング、ハシゴや鎖などが設置されていないため、個々の登山スキルが必要となります。また、踏み跡等が多くある場所もあるため、ルートファインディングも重要な技術となります。登山地図アプリ等を有効に活用して、登るべきルートを確認しましょう。

長野県内の標高の高い山域では、積雪のほか朝晩の冷え込みが氷点下となり、登山道が凍結している場所があります。アイゼンやピッケルなど冬山装備を必ず携行するほか、使うべきタイミングで、正しい技術で使いこなし、スリップやバランスを崩して転倒や滑落をしないように注意してください。

今後、積雪が増えると登山道が不明瞭になります。正規ルートでないトレースをたどり、気がついた時には、登ることも降りることもできないといった遭難が例年発生していますので、必ずご自身が進むべきルートを立ち止まって確認しましょう。

# 【長野県で登山を計画している方へ!】

長野県の各山域は、秋山から冬山シーズンに向けて移行し、標高の高い山域では積雪があります。

冬山登山装備は『MUST(マスト)装備』です。服装や靴、手袋など冬山登山に対応したものを準備して、携行してください。

冬山は、装備品一つで命が助かる場合があるので、準備の段階から慎重に!